

＜ 新沼小学校区第2回懇談会 ＞ 10月6日(水)

主な意見

- なかなか自分の意見を言えない保護者もいるため、新沼小学校PTAでアンケートをまとめたところ、統合の時期について令和5年度を希望する会員が12票、令和6年を希望する会員が17票であった。
- 6/21に開催されたPTAや地区の代表者等を対象にした懇談会では、令和5年4月統合の方針に何ら反対意見もなく、早々に決まるのだらうと思っていた。新沼小学校PTAから教育長へ提出した要望書で、早期に複式学級の解消についてうたっている。
- 新沼小学校区の未就学児保護者を対象に、統合時期についてアンケートを実施した。対象10世帯の全てが令和5年4月を希望している。子ども達が1年でも早く、友達がたくさんいる環境で学ばせて欲しい。
- 集団生活を経験させるために、新沼保育園から藤沢子ども園に子どもを転園させた。より多くの友達がいる環境のなかでいろいろなことを経験し、子どもの視野が広がったことを感じている。
- 学校統合はPTAだけの問題でなく、地区全体のこと。PTAはもっと、事前に地区住民と話し合うべきではなかったか。
- 創立150周年記念よりも、子ども達の教育環境を優先して考えて欲しい。
- PTAの中で以前アンケートを実施したときは、「将来的に統合」という意見が多かった。時期を話し合っていないのに要望書が出た。
- 昨年度中のPTA総会で、教育委員会へ提出する要望書を確認したときにはその内容に誰も反対しなかった。6/21に開催された説明会の場合でも、令和5年4月の統合ということに反対はなかった。
- コロナ禍で統合しても、子ども達がすぐに馴染めるのか心配。
- もっと地区内で話し合ったほうが良い。来年の新入生は、特例による学区外就学を認めて藤沼小学校に入れれば良い。
- 統合の要望は、複式学級の解消が一番の目的であったものと思う。創立150周年が、仮に149年でも十分に素晴らしいこと。なぜ統合するのかを考えるべき。教育環境の整備、複式学級の解消が先決。
- 新沼小学校PTAのアンケート結果にも、150周年への思いが現れている。重視して欲しい。
- 令和5年4月の統合では、安全な通学のための市道、国道の整備が間に合わないのではないか。
- 教育委員会が策定した基本方針は、令和5年4月を目指すとしている。もし結果的に1年延びることがあったとしても、基本方針に沿って進むことで良いのではないか。

※ 創立150周年と教育環境の整備を別に考えて学校統合を優先するべきといった趣旨の発言が多かったことから、教育委員会の基本方針のとおり令和5年4月の統合を目指すことについて、この懇談会で合意を得たこととする旨を確認し、懇談会を終了。

＜ 藤沢小学校区第2回懇談会 ＞ 10月15日(金)

主な意見・質問等

※ 前段として、新沼小学校区第2回懇談会で、基本方針のとおり令和5年4月の統合を目指すことについて合意があった旨を説明。

- ・ 統合推進委員会の構成はどのようになるか。
⇒ これまでの例として、両校のPTA、行政区長の代表、地区内各組織の代表、交通安全関係者、学校関係者などで構成。11月を目処に準備会を開いて人選し、年内を目処に統合推進委員会を設置する。
- ・ コロナ禍で難しいところもあると思うが、統合に向けた交流活動が子ども達には大切な部分になる。工夫してできるだけ多く交流活動が出来たら良いと思う。
⇒ 推進委員会の中に専門部会を設けて検討し、学校行事の年間計画に位置づけて活動していく。
- ・ 統合によって教員を増やす考えはないか。
⇒ 教員数は学級数で決まる。これまでの例では、統合の場合は加配される場合が多い。

※ 令和5年4月に統合する方向で藤沢小学校区の理解を得た旨を確認し、懇談会を終了。